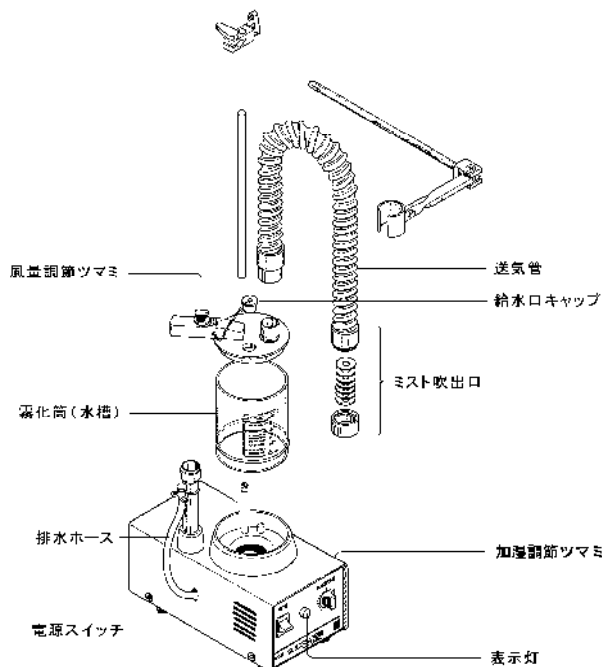


サクラ 標本ブロック加湿器

【形状・構造及び原理等】

[各部の名称]



〔作動・動作原理〕

霧化筒底部に配置された超音波加湿ユニットにより、霧化筒に入れた水を霧化する。発生したミストは送気により送気管を通してパライフィンブロックに当てられる。

*[仕 様 等]

型式：SMB-1
 本体寸法：130(W)×250(D)×250(H) mm (送気管部含まず)
 霧化能力：0～3mL/min
 超音波周波数：1600～1720kHz
 本体質量：約 5.0 kg

電氣的定格：

電 压: AC100V $\pm 10\%$
周 波 数: 50/60Hz
消費電力: 50VA

[設置環境]

- ・温度 10～40℃
- ・湿度 30～85%RH（結露なきこと）
- ・大気圧 70～106kPa
- ・チリ、ホコリが少なく、振動の少ない所に、水平でガタツキの無いように設置する。

【使用目的又は効果】

検体前処理装置

病理組織標本作成の薄切工程において、パラフィンブロックにミスト（霧）を当てて静電気を防止することで、薄切切片を取りやすくする装置。

【使用方法等】

〔必要とする設備〕

電源容量：1.0A 以上
接地端子：D種以上

〔使用方法〕

以下の手順の詳細は取扱説明書をご参照ください。

- ① 霧化筒に水道水を入れる。
- ② 電源スイッチを入れる。
- ③ 薄切作業に適当なミストが出るように、加湿調節ツマミを回す。
- ④ ミスト吹き出し口の位置決めをする。
- ⑤ 送風量を調節する。
- ⑥ 加湿量を調節する。
- ⑦ 使用が終了したら電源スイッチを切り、霧化筒内の水を排水する。

【使用上の注意】

**** [重要な基本的注意]**

- ・ 蒸留水や井戸水を使用しない。〔水アカの発生や標本ブロックの汚染、空焚防止器の作動不良の原因になる。〕
- ・ 水は、常温（40℃以下）の水道水を使用する。〔40℃を超える温水、又は熱湯を使用すると故障の原因になる。〕
- ・ 動作異常時は電源を切る。〔予期せぬ事故の原因になる。〕

** [その他の注意]

- ・他の機器と同一のコンセントを使用しない。[電圧降下により加湿量が変動する恐れがある。]
- ・装置周辺には適切なスペースを設ける。[送風が不安定になる恐れがある。]
- ・装置は水平で丈夫な台の上に置く。[振動により装置が転倒する恐れがある。]
- ・直射日光の当たる場所や、火気の近くには設置しない。[樹脂製部品の劣化、変形の恐れがある。]
- ・風の影響を受けないところへ設置する。[ミストの発生が不安定になる]
- ・水は霧化筒（水槽）に貼付されている水量目盛範囲内（350mL以上は給水しない）で使用する。[ミストが発生しない場合がある。]
- ・クランプレバーを締め付ける際は工具等を使用しない。[クランプレバーが破損する恐れがある。]
- ・霧化筒を取り付けるときはパッキンに水を湿してねじり込むように確実に取り付ける事。またパッキンを傷つけない。[シール不良による水漏れの恐れがある。]
- ・霧化筒に水が入ったままで、装置を持ち運ばない。[水がこぼれる恐れがある。]
- ・霧化筒周辺の清掃には、洗剤・磨き粉・有機溶剤等は使用しない。[変形・変色・変質・故障の原因になる。]

【保管方法及び有効期間等】

* 「耐用期間」

耐用期間：製造出荷後 6 年〔自己認証（当社データ）による〕
 条 件：取扱操作説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に日常点検・保守点検を実施すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を適切に交換すること。保守に用いる主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
超音波加湿ユニット	6 年
制御基板	5 年
ファンモータ	6 年

※ ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

【保守・点検に係る事項】

詳細は取扱説明書の「お手入れのしかた」をご参照ください。

**【使用者による保守点検事項】

- ・ 水の交換
水は毎日交換する。
蒸留水は空焚防止器作動不良の原因となるので使用しない。
井戸水などは、水垢の発生などの可能性があるため、水道水を使用する。
長期間使用しない場合は、排水ホースを用いて、水を排出し、水分を拭き取っておく。
- ・ ろ紙
ミスト吹き出し口の内部に、水滴落下防止用のろ紙が7枚もしくは9枚入っているので、作業終了後ろ紙を取り外し、次の使用に備えて十分に乾燥させる。ろ紙の汚れが目立ってきたら、交換する。
- ・ 霧化筒
水を排水した状態で、霧化筒蓋、霧化筒の順に本体から外し、水位電極棒も含めた周囲を柔らかい布などで清掃する。
振動子は、傷つけないように注意する。
- ・ 背面吸気部のフィルター
本体背面のフィルターに付いたほこりは、掃除機などで吸い取る。

【業者による保守点検事項】

- ・ 背面吸気部のフィルター
汚れがひどい場合は分解清掃を行う。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名 称：サクラ精機株式会社
電話番号：026-272-8381

製造業者

名 称：サクラ精機株式会社 長野本社工場

販売業者

名 称：サクラファインテックジャパン株式会社
住 所：東京都中央区日本橋本町3-1-9
電話番号：03-5643-2630（営業窓口）
機器の故障に関するお問合せ先：0120-392-874
（フリーダイヤル）

取扱説明書を必ずご参照ください。